

令和 3 年度  
学校関係者評価結果報告

専門学校久留米自動車工科大学校

## 1. 学校関係者評価の目的

専門学校久留米自動車工科大学校における学校関係者評価は、「専修学校における学校評価ガイドライン」に沿って、以下のことを目的として実施するものとする。

- ①自己点検評価の評価結果について学校外の関係者による評価を行い、自己点検評価結果の客観性・透明性を高めること。
- ②学生・卒業生、関係業界、中学校・高等学校等、保護者、地域住民、所轄庁・自治体の関係部局など、専修学校と密接に関係する方の理解促進や連携協力による学校運営の改善を図ること。

## 2. 学校関係者評価委員の構成

学校関係者評価委員は、以下の人員で構成する。

- ・実務に関する知識・技術・技能について知見のある企業職員 1名
- ・業界団体役員 1名
- ・卒業生 1名
- ・保護者代表 1名

## 3. 学校関係者評価の実施方法

令和4年6月20日（月）

専門学校久留米自動車工科大学校 会議室にて実施

学校関係者評価委員には、事前に自己点検評価書類を送付。

学校側から自己点検に関する項目毎の概要説明及び自己評価、現状と課題、重要案件では具体例を用いて詳細を説明した。

そのうえで行われた教職員との意見交換を通して得られた提案等を特記事項として記載した。

## 4. 各項目における学校関係者評価

\* 評価表記： 4・・・適切 3・・・ほぼ適切 2・・・やや不適切 1・・・不適切

(1) 教育理念・目標について

<b>【項目総括】</b> 教育理念・目標については、主に以下について説明した。 教育理念はホームページ（以下「HP」と記す）や募集要項及び学生便覧等を利用し広く周知している。 社会環境の変化に伴う経済的な問題に関しては、修学継続が可能な手立てを講じている。 増加傾向にある多様な背景を持つ生徒においては、国家資格取得だけでなく、一人の社会人として自立できるような丁寧な人材育成教育を継続している。		
<b>【特記事項】</b> 委員からは、多様な生徒が増加傾向にある中で、入学前の学校間での連携は難しいものもある。 一人の社会人として自立するための教育が重要であるという認識から、教育方針を支持する意見を頂戴した。		
<b>【点検事項】</b>	自己点検 評価	学校関係者 評価
教育理念・目標を具体的に定めているか（3つのポリシーが反映されているか）	4	4
教育理念・目標は各媒体に明示されているか	4	4
教育理念・目標に基づき、適切な授業計画を作成し、同じ方向性を持って授業遂行できているか	4	4
学校を取り巻く社会環境変化に対応し、必要に応じて教育手法や授業計画を柔軟に見直しているか	4	4

(2) 事業計画に沿った学校運営

<b>【項目総括】</b> 当該年度の事業計画及び予算は法人本部と連携し適正に作成している。 実施成果については学内の期中・期末監査において評価され、指摘事項については改善計画により対応している。 事業計画・予算状況及び事業報告・決算については学内・HP等で情報公開している。		
<b>【特記事項】</b> 本件に関して質問、意見は特になかった。		
<b>【点検事項】</b>	自己点検 評価	学校関係者 評価
単年度事業計画と予算は、法人の正当な手続きに基づき作成・決定されているか	4	4
毎年の個別事業の実施成果を評価すると共に、評価に対応した改善計画を作成しているか	4	4
事業計画及び事業報告書並びに予算・決算等を情報公開しているか	4	4

(3) 教育理念・目標に基づいた学校全体の教育活動・個別の教育活動

<p><b>【項目総括】</b></p> <p>入学から在学期間における教育活動において主に以下について説明を行った。</p> <p>入学者の受け入れ方針等については、入試判定会議において適宜協議し、必要な見直しを行っている。</p> <p>高校卒業程度の基礎能力を有していることを前提とし、教育理念の一つであるアドミッションポリシーに沿った学修意欲も重要視している。</p> <p>職業教育の専門性確保のため、企業と連携した教育課程編成委員会等を通じ、産業界のニーズを十分に反映したカリキュラム構成を検討・実施している。</p> <p>前期末、後期末に、学生に授業評価アンケートを実施し、評価内容によって改善に取り組むことで満足度の向上に努めている。</p>		
<p><b>【特記事項】</b></p> <p>本件に関して質問、意見は特になかった。</p>		
<p><b>【点検事項】</b></p>	自己点検 評価	学校関係者 評価
学生受入れの方針の設定、受入れ方法の設定、適切な受入数の確保ができてい か	4	4
教育理念・目標に基づいた教育を展開するためのカリキュラムポリシーの設定が 成されているか	4	4
カリキュラムポリシーは教員に共有化されているか	4	4
シラバス（授業プラン）は教育理念を反映されたものであるか	4	4
シラバスの内容は教員に共有化されているか	4	4
職業教育としての専門性確保のため、産業界のニーズを反映したカリキュラムと なっているか	4	4
個々の授業に対する学生の満足度を高めるために、授業内容及び授業方法の改善 に取り組んでいるか	4	4

(4) 学修成果の実現向上

<p><b>【項目総括】</b></p> <p>学修成果の向上を実現するにあたり、主に以下について説明を行った。</p> <p>就職内定率は100%を継続し、職業教育機関としての責務を果たしている。</p> <p>履修状況に応じた取り組みとして授業開始前の指導、教育が成果に表れている。</p> <p>成績不振や進路変更に伴い退学者数が前年度を上回ったことについて、早期の積極的なアプローチや丁寧な相談対応等が引き続き必要である。</p>
---

<b>【特記事項】</b>		
<p>委員からは、時代の流れに沿った教育が行われており、学生の満足度も高いと感じた。</p> <p>入学者数の増加よりも、退学者を減少させることが大切ではないか。</p> <p>退学者には深く寄り添い解決策を追求することや、現代に沿ったコーチング等を取り入れ、学生が将来の目標を掲げ、その目標へ教員が導く等の取り組みも今後重要になってくるとの意見を頂戴した。</p>		
<b>【点検事項】</b>	自己点検 評価	学校関係者 評価
履修認定基準は公正であるか	4	4
各学科卒業生及び修了生の資格試験の合格率は向上しているか	4	4
各学科卒業生の就職率は向上しているか	4	4
履修状況（出席状況・期末試験の結果）に応じた学修支援は十分か	4	4
各学科の課程修了に応じた進級率は向上しているか	4	4
退学率は減少しているか、また退学に至るまでの対応は適切であるか	3	3
資格試験合格のための対策授業を実施しているか、それは適切か	4	4

(5) 学生の教育及び生活における課題解決に対する支援

<b>【項目総括】</b>		
<p>以下の4項目に掲げた学生における課題解決の中で、精神的課題を抱えた生徒への対応に対し、具体例をあげて説明した。</p> <p>臨床心理士による定期的な学内カウンセリングを継続し、以前より相談件数は増加しているが、全体的に見ると利用者は少ないため、カウンセリングに足を運ぶことに躊躇している学生もいると考えられる。</p> <p>更に相談しやすい環境づくりに取り組む必要がある。</p> <p>就学における経済的問題に関しては、高校にも周知が広がり利用者が増加している。</p>		
<b>【特記事項】</b>		
<p>委員からは、中学・高校には保健室があり、保健室の教員が初期段階の相談窓口となっていて、カウンセラーへの相談となると一歩構えるので、相談しないケースが多い。</p> <p>専門学校では担任を中心に全職員による、学生に寄り添った対応が大変重要であるとの意見を頂戴した。</p>		
<b>【点検事項】</b>	自己点検 評価	学校関係者 評価
学生の教育課題を把握し、課題への対応を検討・実施しているか	4	4

学生の精神的な課題を早期に発見し、専門的で個別指導を促すことを実行できているか	3	3
就学の経済問題の相談に対し、国・県の支援制度を活用しているか	4	4
就学の経済問題の相談に対し、校納金の延納、分納、奨学金制度等の情報提供を行っているか	4	4

(6) 教育環境

<p><b>【項目総括】</b></p> <p>教育環境に伴う以下の3項目について現状と課題、今後の方針を説明した。</p> <p>教育環境については良好な状態を保持しているが、老朽化が進む施設等に関しては、令和3年度に策定した中期的な施設整備計画に基づき、優先順位の高いものから計画的に改修していく。</p> <p>懸案であった学生ラウンジの整備については、学生の様々な交流の場となることから、学生を含めた検討委員会を組織し、具体的に検討することを報告した。</p>		
<p><b>【特記事項】</b></p> <p>学生ラウンジについて委員からは、学生は様々な話を聞くことで刺激されるので、モチベーションを上げる事ができる場として、非常に良い案であるとの意見を頂戴した。</p>		
<b>【点検事項】</b>	自己点検 評価	学校関係者 評価
自動車の整備技術の進化に対応し、実習教材を整備・充実させているか	3	3
学生の在籍状況に応じた学習施設の維持・補修を行い、必要に応じて教育機能の充実を図っているか	4	4
学生の福利厚生施設の検討を行い、必要に応じて整備できているか	3	3

(7) 学生募集の充実とマネジメント

<p><b>【項目総括】</b></p> <p>学生募集に関し主に以下について説明した。</p> <p>令和2年度にホームページの全面改修を実行。令和3年度は動画コンテンツを充実させ、トップページのCG動画、学生のライフスタイルに沿った動画、産業連携事業（ハチロクレストア事業）の動画・特設サイトを制作し、本校を検討する方の心に届くPRを実施した。</p> <p>令和2年度同様リクエスト型オープンキャンパス（以下OC）の実施やweb広告重視の広報施策を実施。令和3年度のOC参加者累計138名の内、受験対象者108名、内出願者86名と報告した。</p> <p>法人全体での財政基盤は安定しているが、本校単体で見ると改善傾向にあるものの不安定であるため、本校の強みである就職内定率100%や優れた教師陣、恵まれた教育環境等を全面的にPRすることで、安定的に学生確保に繋がられるよう全職員一体となって取り組むと説明した。</p>		
---	--	--

<p><b>【特記事項】</b></p> <p>委員からは、他の整備士養成学校も厳しい状況にあり、令和9年度から新たな整備士制度も導入されることから、今後の自動車整備士の増減に影響する可能性がある。</p> <p>社会の自動車整備士に対するマイナスイメージを軽減させる取り組みを行っている企業も増加している。学校を維持するため、募集活動も必要不可欠であることから、本校の強みである就職内定率や整備士国家資格合格率のアピール等を今後も継続し、全体的な底上げが重要との意見を頂戴した。</p>		
<b>【点検事項】</b>	自己点検 評価	学校関係者 評価
入学生及び在籍学生の確保に努めたか	4	4
学生募集を強化し、全学科合わせて目標の入学者を確保できているか	4	4
入学生確保のためのオープンキャンパス開催、WEB広告充実など多様な学生募集の展開を実施しているか	4	4
入学者確保による収入の増加と経常的支出を計画的に削減することで収支安定を図っているか	4	4
経営収支の改善による継続可能な財政は確立されているか	3	3
教職員の資質・能力向上に向けた研修を実施したか	4	4

(8) ガバナンスとコンプライアンスの確保

<p><b>【項目総括】</b></p> <p>適切な学校運営を取り組むに当たり、理事会・評議委員会との連携並びに監査結果への対応等誠実にしていることを報告した。</p>		
<p><b>【特記事項】</b></p> <p>本件に関して質問、意見は特になかった。</p>		
<b>【点検事項】</b>	自己点検 評価	学校関係者 評価
学校の組織的運営のため、職員会議をはじめとする各種会議の適正な開催と組織的な統制は確保されているか	4	4
法人理事会・評議委員会の意思決定及び法人監査による監査指摘への対応に基づく円滑な学校運営はなされているか	4	4